

農道整備事業(農村整備)

老朽化の進行が顕在化している農道等の再編・強靱化を行い農村の活性化を図ります。

●農道整備事業(強靱化型)

地域防災計画において避難路等に指定されている農道や、主要道路・鉄道の跨線橋、跨道橋など人命、財産等への影響が大きいものを対象に整備を行います。

老朽化が進む農村地域のインフラの持続性を確保するとともに農村の活性化を図ります。



整備中の農道(甲賀市)

事例紹介

鹿深2地区(甲賀市)



擁壁工 施工中



舗装工(表層) 施工中

鹿深広域農道は整備後30年以上が経過した基幹農道です。一般車両が増加し、国道1号や国道307号、主要地方道草津伊賀線、さらに新名神高速道路や名阪国道への接続道としても利用され、老朽化が進んでいます。



甲賀広域農道(甲賀市)

事業名/県営農道整備事業
(農村整備事業)

実施年度/令和3年度~令和8年度

総事業費/886,000千円

受益面積/6,661戸

事業内容/舗装工 15,501m²

擁壁工 11箇所

防護柵工 990m

橋梁工 1橋

実施主体/甲賀農業農村振興事務所

舗装のひび割れやわだち掘れ等による走行性の悪化や、ブロック積み擁壁の座屈、橋梁の伸縮装置の劣化等から農業車両の交通の安全性や円滑化に支障をきたしています。このことから予防保全を中心とした維持管理事業での対応が必要であり、農業の生産性の向上および農産物流通の合理化、農村地域の生活環境の改善に向けて取り組んでいます。